



田野 香織



山本 のゆり

いながわ 特派員報告



公園や歩道の近くで「ADOPT 猪名川町アドプトプログラム」と書かれた看板をご覧になったことはありませんか？今回はこのアドプトプログラムについて紹介します。

アドプトプログラムとは？

地域の公園、緑地、道路、河川などの公共物において、住民が行政と協力しながらその区域の清掃、草刈り、植栽などの活動を行う制度です。

最初にアメリカでハイウェイの散乱ごみに悩まされて導入された制度ですが、日本でも現在全国の自治体で広く実施されています。

猪名川町アドプトプログラム

町では、平成18年度からアドプトプログラムを導入しています。

自治会、老人会、ボランティアグループ、スポーツチームなど33の団体が活動に参加しています。

植樹帯の草刈り、花の苗植え、公園のグラウンド整備、トイレ清掃など、活動する場所も内容も団体によって様々です。

これらの活動場所と活動内容は、参加する団体が設定しています。町から団体に対しては、資材の提供（花の苗や肥料の提供、草刈り機の貸し出しなど）、回収ごみの処理などを行っています。また、もしものために、町ではボランティア保険に加入しています。

参加団体を募集しています！

アドプトプログラムは、家族、任意団体、事業者などなたでも参加できる制度です。

町では、参加団体を募集しているそうです。2、3人の少人数から活動できますので、地域の道路や公園、河川づくりを住民皆さんの手で進めてみませんか？！

自分たちの街は自分たちの手で

～ひまわりクラブ（旭ヶ丘自治会）～

旭ヶ丘自治会にボランティアグループのひまわりクラブが誕生して今年で10年。猪名川町にアドプトプログラムが導入される前から活動を続けてこられました。

今回クラブ代表の矢藤さんにお話を伺いました。

◆ひまわりクラブ誕生のきっかけを教えてください！

ある住民の自発的な活動からス



完成です！



「旭」の文字を植樹中

写真提供：ひまわりクラブ

スタートし、現在35人のメンバーで、公園や緑地など23カ所（約3300㎡）で活動しています。

◆公園や開水路などエリアが広く作業は大変ですね！

一度ではとても作業できません。毎年5月に年間計画を立て、23カ所の作業内容と管理者を決め、6月から10月の間は全員で活動します。のり面が多くて、草刈りには苦労します。

◆印象に残るエピソードは？

旭ヶ丘に引越して来られた人が、この町はきれいだね！と言ってくれた時は、やって良かったと思いましたよ。

アドプトの活動を通じて子育て広場や異世代の交流も新たに生まれ、地域の輪が広がっています。



～アドプトプログラム～ 美しいまちづくり

色とりどりの花で花壇をいっぱい！

～松尾台校区まちづくり協議会環境部会～



その取り組みの一つとして、環境部会の花いっぱい運動と連携した花壇を作ったことからアドプトの活動につながったのです。

◆立派な花壇ですね。活動内容を教えてください！

まちづくり協議会のアドプトメンバーの6人で、年2回春と秋に花壇の苗植えをしています。花壇の手入れだけでなく、うぐいす池公園の草引きや清掃など定期的に活動しています。

私たちの活動が、住みよい町づくりに貢献できたらと思っています。



赤色の大きなローラーすべり台が目を引く、うぐいす池公園。ここでアドプトの活動をされている松尾台校区まちづくり協議会環境部会の皆さん取材しました。

◆アドプト活動はいつから始めたのですか？

昨年の4月に、うぐいす池公園見える化計画の一環として、このローラーすべり台が完成したことが始まりです。

日曜日は草引きと練習で汗を流しています！

～ソフトボール同好会伏見台イーグルス～

結成33年を迎えるソフトボール同好会伏見台イーグルス。日曜日の朝、伏見池公園グラウンドでの練習中に、野村さんにお話を伺いました。

◆アドプトの活動のきっかけを教えてください！

5年ほど前に、町からアドプトの制度があると聞きました。グラウンドを使用させてもらうのだから、私たちも地域社会の一員としてやるべきことをやろうと。

雑草はぐんぐん伸びますから、練習前30分間は必ずグラウンドの草引きです。毎年7月と11月にはグラウンド全体の除草、清掃を



行っています。

◆皆さんのおかげでグラウンドは非常にきれいです。伏見台イーグルスについて教えてください！

イーグルスは10代から70代の24人のメンバーで、毎週日曜日の午前中練習しています。女性メンバーも頑張っていますよ。新規メンバーも募集中です。

～編集後記～

今回取材に協力してくださった皆さん、お忙しい中ありがとうございました。

アドプトの活動を通じて、いきいきと地域に貢献されている皆さんの姿が心に残りました。

親子で歴史文化と自然を満喫

▼▶ 5月12日、子どもいきいきクラブが主催する「集まれ！いながわ、自然発見～春～」が銀山地区周辺で開催されました。

参加者は、観光ボランティアガイドの案内で青木間歩や悠久広場で歴史・文化に触れ、また、道端に咲く草花の名前や特性を学んだり、山野草を試食したりと楽しい一日を過ごしました。



親子で水鉄砲を作って楽しみました

▼ 5月12日、ふるさと館で同館の子ども講座「手作りおもちゃで遊ぼう」が開催され、猪名川あそび～会の協力のもと、親子で竹を使って水鉄砲を作りました。水鉄砲から飛び出る水しぶきに歓声があがりました。



地域でつながる子育てひろば



▼ 5月15日、松尾台校区まちづくり協議会主催の「おはなしの玉手箱～地域でつながる子育てひろば～」が開催され、絵本やうたを通して親子で楽しみました。

また、日頃の子育ての悩みなどを話したり聴いたりして、保護者にとってもリフレッシュの機会になりました。

みんなで「よもぎ」をつみました

▼ 4月22日、六瀬幼稚園で園児たちが周辺の土手に生えているよもぎの葉をつみ、「よもぎとり楽しい～」「たくさん採れたよ！」など自然とのふれあいを楽しみました。

つんだよもぎの葉を使って、5月10日に未就園児も招き、地域のおばあちゃんと一緒によもぎだんごを作りました。



10月31日までエコスタイル

▼町では、環境省の「クールビズ」の提唱や夏期の電力不足による節電の必要性を踏まえ、5月1日からエコスタイルを実施しています。

期間中はエコスタイルを基本とし、本庁舎や各施設においては、室内温度を28度設定となる冷房機器の運転など可能な限りの節電対応も行います。



水稻苗の出荷始まる

▼ JA 兵庫六甲猪名川営農支援センターで、水稻苗の生産・出荷が始まっています。かつては各農家が自前で種もみをまいて育てていましたが、今では同センターの苗を購入して田植えがされています。秋に収穫される新米が楽しみです。



日除けにゴーヤの苗を植えました

▼ 5月7日、猪名川保育園で園児たちがプランターにゴーヤの苗を植え、「早く大きくなあれ」「楽しみだなあ」などと声をかけながら水をあげました。

苗は夏にグリーンカーテンとなり、園児たちを夏の暑さや陽射しから守ってくれます。

